

## 学び直し授業「臨床動物看護学」(対面授業12時間用)

科目名		シラバス(概要)
コース	学び直し	<p>動物看護師は、獣医師の診断と治療方針のもとで動物の援助や飼い主を支援できる専門職として、重要な役割を果たすようになってきている。チーム獣医療の中で動物看護師としての観察、記録、コミュニケーション、看護技術と共に獣医学の種々の知識が必要であることは言うまでもない。人の言葉を使わず、習性や生態もちがう動物の思いを予測し、動物を取り巻く環境や飼い主の特徴をとらえることは、家庭での看護や処置を継続して貰うために非常に大切である。動物看護師が飼い主に信頼してもらえなければ、説明する内容も実行してもらえないことにもなりかねない。信頼して貰える動物看護師になるためには、第一印象を良くし、指導者として信頼できる知識とそれを伝えるコミュニケーション技術を持つことが必要となる。また、動物の現在の状況を正しく分析することによって、今後予測される看護に関する問題を検討し、どんな時にどのような看護を実施すべきなのかを判断できなければならない。獣医療現場では獣医師、動物看護師がチームとなって協働することが重要で、お互いが治療内容を理解しあい、動物の代表的な疾病の基礎を学ぶと共に解剖や生理学的な知識の見直しをし、飼い主への説明時に役立てられるよう見識を深める必要がある。</p>
年度	2017年度	
期		
ユニット		
科目名	臨床動物看護学	
単位		
履修時間	12時間	
回数	4回	
必修・選択		
授業形態	座学、演習	
作成者		
教科書	平成25年度文科省委託事業成果テキスト:専門分野臨床動物看護学総論(インターズー)	約3時間分の自律学習を実施した後に、対面授業1回3時間(50分×3コマ)を4回受講し、各回ごとに対面授業理解度確認テストを受ける。一定基準に達した際には、修了証書を授与される。

コマシラバス				
50分/コマ	コマのテーマ	項目	内容	教材・教具
1	動物看護学・自律学習の理解度確認	1.シラバスとの関係	臨床動物看護学の開始前に自律学習の復習として動物看護について学び直す。	平成25年度文科省委託事業成果テキスト:専門分野臨床動物看護学総論(インターズー)
		2.コマ主題	動物看護師とは何か?	
		3.コマ主題細目	自律学習テキストの中から、確認課題の回答を検討する。	
		4.コマ主題細目深度	動物看護とは何か、動物看護過程とは何か、動物看護学を見直し、復習する。看護のイメージへとつながる看護の歴史をナイチンゲールからひもとくとき、看護のこころと在り方、専門職としての動物看護師を知る。倫理綱領の存在を確認し、内容を理解する。	
		5.次コマとの関係	臨床動物看護学について知る。	
2	臨床動物看護学の概要	1.シラバスとの関係	臨床動物看護学とは何か、を理解する。	平成25年度文科省委託事業成果テキスト:専門分野臨床動物看護学総論(インターズー)
		2.コマ主題	臨床動物看護学を学ぶにあたって、概要を知る。	
		3.コマ主題細目	臨床動物看護学総論として、全体目標について理解する。	
		4.コマ主題細目深度	動物の健康状態を、健康時、急性期、慢性期、終末期の4病態に区別してそれぞれの健康レベルに応じて必要とされる診断・検査の補助ならびに具体的な看護技術について理解する。	
		5.次コマとの関係	症状別の看護の特性を理解、具体的な看護技術について展開される今後の授業内容の概要について説明を受ける。	
3	臨床動物看護学の概要	1.シラバスとの関係	臨床動物看護技術の要素とは何か、を知ることにより今後の授業展開について知ることができる。	平成25年度文科省委託事業成果テキスト:専門分野臨床動物看護学総論(インターズー)
		2.コマ主題	3種類の症状別の看護について学ぶ概要を知る。	
		3.コマ主題細目	症状別の看護の特性を理解、具体的な看護技術について展開される今後の授業内容の概要について説明を受ける。特徴的な看護技術としてどのようなものが必要なのか。	
		4.コマ主題細目深度	動物看護の基本的な条件は、動物がその動物らしく健康な生活が送れるように支援することであり、そのためには看護対象の状況を適切に捉える必要がある。「痛みがある動物の看護」「かゆみ。脱毛がある動物の看護」「嘔吐・排便異常がある動物の看護」技術について学ぶために、各症状を呈する代表的疾患について知識を持ち、かつ必要な局所解剖や生理学的知識について整理し、修得する準備をする。	
		5.次コマとの関係	症状別の動物看護「痛みのある動物の看護」	
4	症状別の動物看護「痛み」	1.シラバスとの関係	痛みのある動物に対する動物看護技術は何かを考える。そのために必要な痛みの定義、分類、評価について復習する。	平成25年度文科省委託事業成果テキスト:専門分野臨床動物看護学総論(インターズー)、専門分野臨床動物看護学各論(インターズー)、動物医療チームのための痛みのケア超入門(インターズー)
		2.コマ主題	痛みの定義、分類、評価について	
		3.コマ主題細目	痛みとは何か、その重要性を理解した上で、痛みを感じている動物が実際にどのような行動に出るのかをGWで話し合う。痛みにより引き起こされる体への症状を知り、ペインスケールを学ぶ。「急性痛」「慢性痛」「がん性疼痛」の違いと治療方法について理解する。	
		4.コマ主題細目深度	動物が感じる痛みを理解し、想像できるようにする。その痛みがどの程度なのかを数値化することで他の獣医療者との共有ができるようにする。痛みに関して、「医学的」「学術的」に理解し、自身の経験と照らし合わせてみる。	
		5.次コマとの関係	看護を実践する上で必要な看護技術を知るために、事例を用いて「急性痛」と「慢性痛」を考える。	
5	症状別の動物看護「痛み」	1.シラバスとの関係	急性痛に該当する症例を学修し、臨床的な症状から推測出来る原因や動物の今現在の状況を知ることにより動物が安全な看護を受けられるようになる。	平成25年度文科省委託事業成果テキスト:専門分野臨床動物看護学総論(インターズー)、専門分野臨床動物看護学各論(インターズー)、動物医療チームのための痛みのケア超入門(インターズー)
		2.コマ主題	急性痛の事例として術後の疼痛管理について学ぶ。	
		3.コマ主題細目	動物看護過程を用いて、「断脚手術を受ける動物の看護」を考える。	
		4.コマ主題細目深度	疼痛を抱える動物に対する観察項目、配慮、看護行為、およびその飼い主に対する配慮、看護行為をGWで考える。	
		5.次コマとの関係	動物看護過程を用いることで系統立てて動物看護が実践できることを理解する。	

学び直し授業「臨床動物看護学」(対面授業12時間用)

6	症状別の動物看護 「痛み」	1.シラバスとの関係	GWでの内容を発表し、話し合い動物看護を深く考えていくことの重要性を理解する。	平成25年度文科省委託事業 成果テキスト; 専門分野臨床 動物看護学総論(インター ズー)、専門分野臨床動物看 護学各論(インターズー)、動 物医療チームのための痛み のケア超入門(インター ズー)
		2.コマ主題	「痛みのある動物に対する動物看護とは何か」のまとめ	
		3.コマ主題細目	動物看護師として何が出来るかを考える。	
		4.コマ主題細目深度	GWで話し合った内容を発表。動物看護師にしかできないことは何 か理解を深める。まとめ。「痛みのある動物の看護」の受講理解度 確認のためのテストを実施する。	
		5.次コマとの関係	次の症状別看護の「かゆみ」、に進む。	
7	症状別の動物看護 「かゆみ・脱毛」	1.シラバスとの関係	かゆみのある動物に対する動物看護技術は何かを考える。そのた めに必要な外皮系に関する知識を復習する。	平成25年度文科省委託事業 成果テキスト; 専門分野臨床 動物看護学総論(インター ズー)、専門分野臨床動物看 護学各論(インターズー)
		2.コマ主題	外皮系とはなにか、関連する専門用語	
		3.コマ主題細目	皮膚疾患の代表的な症状としてのかゆみと脱毛を症状とする代表 的な皮膚疾患について。	
		4.コマ主題細目深度	かゆみ・脱毛のある動物を理解するため看護について学ぶ。かゆ みを表現している動物に対して、どんな疾患があるのか、獣医師に よる診断、検査方法の基礎的知識を持つと共に情報の共有ができ ようになる。皮膚疾患の看護に必要な知識として皮膚の解剖、整 理、機能を学び皮膚疾患の代表的な原因について知る。かゆみを 伴う疾患にどんなものがあるのか?原因をよく理解した上で獣医師 の診断した内容が理解でき、情報を共有できるために知識を学ぶ。	
		5.次コマとの関係	かゆみ・脱毛を主症状とする疾患について知る。	
8	症状別の動物看護 「かゆみ・脱毛」	1.シラバスとの関係	かゆみ・脱毛を主症状とする代表的疾患を知る。	平成25年度文科省委託事業 成果テキスト; 専門分野臨床 動物看護学総論(インター ズー)、専門分野臨床動物看 護学各論(インターズー)
		2.コマ主題	かゆみ・脱毛を主症状とする、皮膚疾患を知る。	
		3.コマ主題細目	「かゆい・脱毛」症状による皮膚疾患名を知る。	
		4.コマ主題細目深度	事例として深在性膿皮症。皮膚疾患の場合には長期間病になる慢 性疾患の看護が必要になるので、家族への教育指導の方法を知 ることが必要。治療方法のひとつとして薬浴について学ぶ。	
		5.次コマとの関係	かゆみ・脱毛を主症状とする疾患について知る。	
9	症状別の動物看護 「かゆみ・脱毛」	1.シラバスとの関係	薬用シャンプーについて	平成25年度文科省委託事業 成果テキスト; 専門分野臨床 動物看護学総論(インター ズー)、専門分野臨床動物看 護学各論(インターズー)
		2.コマ主題	薬用シャンプーをするにあたっての飼い主指導	
		3.コマ主題細目	薬用シャンプーの方法と、それを飼い主へ伝える時のポイント	
		4.コマ主題細目深度	GWの発表 その後「かゆみ・脱毛がある動物の看護」の理解度確認テストの実 施。	
		5.次コマとの関係	嘔吐・排便異常を主症状とする疾患の基礎について知る。	
10	症状別の動物看護 「嘔吐・排便異常」	1.シラバスとの関係	嘔吐や排便異常のある動物の動物看護過程が展開できるよう知 識を修得する。	平成25年度文科省委託事業 成果テキスト; 専門分野臨床 動物看護学総論(インター ズー)、専門分野臨床動物看 護学各論(インターズー)
		2.コマ主題	消化器系の構造、嘔吐と吐出との相違、排便異常について	
		3.コマ主題細目	消化器系の構造と動きを学び、体内と体外の違いについて理解す る。その上で、嘔吐・吐出・下痢の機序を学ぶ。またその時の観察 項目を知る。	
		4.コマ主題細目深度	嘔吐・吐出・下痢を引き起こしている動物の今現在の状況を学術的 に理解する。嘔吐がある動物の今を知るにより動物が安全で 必要な看護をうけられるよう、看護を実践するために嘔吐のある疾 患の情報を獣医師と共有できるための知識を持つことができる。事 例に沿って必要な看護技術を知る。	
		5.次コマとの関係	事例を用いて実際の動物看護を考える。	
11	症状別の動物看護 「嘔吐・排便異常」	1.シラバスとの関係	排便異常の定義を知り、看護に必要な知識を持つ。	平成25年度文科省委託事業 成果テキスト; 専門分野臨床 動物看護学総論(インター ズー)、専門分野臨床動物看 護学各論(インターズー)
		2.コマ主題	排便のある症状をもつ動物の事例を想定し看護を考える。	
		3.コマ主題細目	十分に食べること、飲むことができない動物の看護について学ぶ。	
		4.コマ主題細目深度	事例を想定し、その動物がアビリティーモデルの中の1十分に食べ られるか?飲めるか?身づくろいができるか?を確認しながら看護 を実践する。	
		5.次コマとの関係	嘔吐・排便異常のある動物の看護のまとめと確認テスト。	
12	症状別の動物看護 「嘔吐・排便異常」	1.シラバスとの関係	嘔吐・排便異常のある動物が安全に必要な看護を受けられるよ うに学ぶ。	平成25年度文科省委託事業 成果テキスト; 専門分野臨床 動物看護学総論(インター ズー)、専門分野臨床動物看 護学各論(インターズー)
		2.コマ主題	嘔吐と吐出の違い、正常な排便と異常な排便について	
		3.コマ主題細目	嘔吐・排便異常のある動物の看護についてまとめる。理解度を確 認するためのテストの実施。	
		4.コマ主題細目深度	正常な便、異常な排便。下痢、軟便、血便、便秘、小腸性下痢、大 腸性下痢。異常な排便を観察し、その原因をよく理解した上で獣医 師の診断した内容が理解でき、情報を共有できるために知識を学 ぶことができたか、まとめと確認テストの実施。	
		5.次コマとの関係		